

地域医療連携室

フレンディーだより

Community medicine cooperation room



**東日本大震災におけるDMAT活動報告
及び医療救護班活動報告会 (H23.4.20)**



2011

vol.37

H23.5 発行

黒部市民病院 黒部市三日市1108-1

E-mail : friendly@med.kurobe.toyama.jp

新年度を迎えて



院長 新居 隆

東日本大震災という未曾有の災害に見舞われて新しい年度を迎えました。病院からは発生当日のDMAT派遣をはじめ種々の支援活動に職員それぞれの立場で参加しています。

昨年度は新しい2管球搭載超高速CTを導入しました。心・冠動脈疾患の診断にも威力を発揮しています。また、乳房再建（インプラント法を含む）をはじめました。さらにリンパマッサージ外来、ストーマ外来を開設、専門看護師が担当しております。平成23年度は電子カルテシステムの更新の準備に入りました。改築計画では皆様にも利用していただくため会議室や研修室の充実にも力点を置きました。地域医療ではオープンキャンサーボードを発足しご紹介いただいた先生方と合同のカンファレンスを開催していきます。また、病病連携も具体化し、あさひ総合病院との相互協力が始まりました。医療技術の進歩、制度の改革は止まりません。これを医療を享受する人たちに好ましい方向に導くには、地域ぐるみのチーム医療が重要です。単なる分業ではなく地域全体がひとつの医療チームであるという意識を醸成しながら地域の皆様とともに地域医療のよりよい発展に貢献していきたいと考えています。

黒部市民病院外科部長・ がん診療センター所長に 就任しました



理事 兼 外科部長 桐山 正人

本年4月に金沢医療センターがん診療部から、黒部市民病院外科部長・がん診療センター所長として赴任しました桐山です。前任地では16年間一般・消化器外科医として、救急患者、消化器・乳腺・甲状腺の良悪性疾患の手術・治療に携わってきました。悪性疾患の診療に関しては、がん診療部長として各科領域における進行癌や再発癌などの難治性癌に対する治療方策を話し合うcancer boardを開催し、外科的治療、化学療法、放射線療法を中心とした集学的治療を行ってきました。その中で外科的治療の

一翼として、化学療法・放射線療法が無効であった、喉頭咽頭の局所再発癌に対する喉頭咽頭全摘術・遊離空腸による再建、あるいは子宮癌局所再発による膀胱・直腸・膣癌に対する骨盤内全摘術などを行い、良好な成績を得てきました。骨盤内臓悪性疾患に対する外科治療が得意な領域です。

《骨盤内局所進行癌・再発癌に対する外科治療 骨盤内臓全摘術》

骨盤内臓全摘術の適応は、原則遠隔転移や腹膜播種を認めない進行癌や再発癌が対象となります。この手術を行えば、当然直腸・膀胱機能は損なわれ、人工肛門造設・尿路変更（回腸導管を採用しています）が必要となります。患者様にとってはボディ・イメージの変化に対する精神的苦痛があり、QOLの低下が心配されますが、生命あつてのQOLと考え、適応症例には十分なICを行いこの手術を行っています。実際、前任地では10年以上無再発の巨大な原発性直腸癌症例を2例、5年以上生存の膀胱癌直腸浸潤症例や子宮癌局所再発例を経験しています。そのような患者様は旅行にも行かれますし、中には尾瀬を一泊二日でハイキングされた方もおられ、QOLは保たれています。

また化学療法がある程度期待でき、予後の改善には局所コントロールが必要と考えられる卵巣癌や大腸癌播種症例に対しても、メスを振っています。難治性癌に対する治療戦略は集学的治療が基本ですが、局所に対する一番確実な治療方法は外科的切除と考え、新川医療圏における地域医療に貢献できるよう、外科医として頑張っていきたいと思えます。

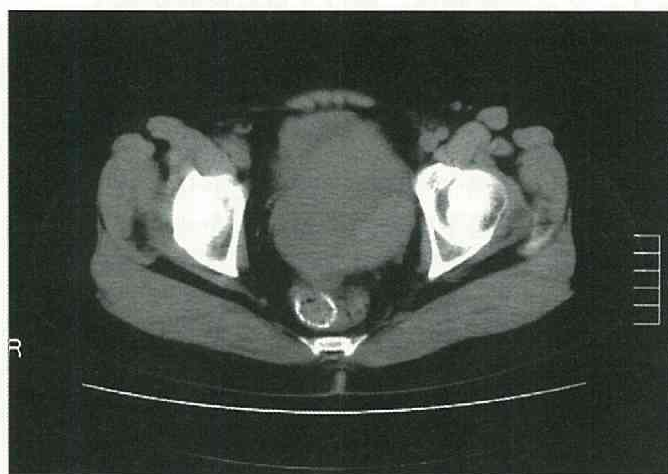


図1：直腸癌低位前方切除術後の卵巣再発
卵巣転移周囲に播種巣も認めた

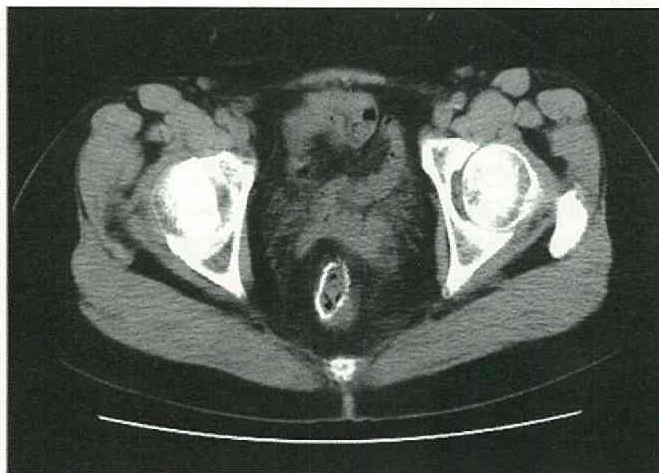


図2：再手術後8年経過し無再発生存中

リンパ浮腫外来開設



かんわ支援室 看護師長 高山 由紀子

リンパ浮腫、リンパマッサージと聞くと、エステを連想される方もおられると思いますが、リンパ浮腫外来では、主にがん患者さんのリンパ浮腫に対応します。リンパ浮腫には、原発性と続発性があります。続発性リンパ浮腫は、がんの手術（主として子宮がん、卵巣がん、乳がん、前立腺がん）のリンパ郭清に伴うリンパ還流の障害が原因となって起こり、手術患者の25～30%に発症すると言われています。このリンパ浮腫外来は、このようながんの手術後にリンパ浮腫を発症した患者さんの治療と生活支援を行う外来です。

では、リンパ浮腫外来の実際を紹介します。リンパ浮腫は、進行すると皮膚が硬くなり象の皮膚のような状態になります。そのような状態になると、関節の曲げ伸ばしが困難になり日常生活にも支障をきたします。その他にむくみにより手や足の重さによる苦痛、体型の変化による精神的苦痛など様々な苦痛を患者さんは抱えることとなります。そのような象皮症と呼ばれる進行状態にならないよう、リンパ浮腫治療として複合理学療法が推奨されています。この療法は、「スキンケア」「医療徒手リンパドレナージ療法」「圧迫療法（弾性包帯・弾性着衣）」「圧迫下での運動療養」を4本柱として行います。外来においては、患者さんの浮腫の程度と生活面を考慮し、ケアの内容を患者さんと話し合い実践していきたいと考えています。また、外来での最終目標は、患者さんのセルフケアの確立です。看護師による徒手リンパドレナージと並行して患者さんのセルフマッサージや圧迫療法の自立を目指した支援を行い、症状の安定とセルフケアの自立が確認できたら、定期的な外来通院は終了としていきたいと考えています。

このリンパ浮腫外来は保険外診療で、かかる費用は全て実費です。また、完全予約制で行います。リンパ浮腫を発症した患者さんの身体的、精神的苦痛緩和を目指したケアを提供していきますので、よろしくお願い致します。

【リンパ浮腫外来】

* 血管外科の診察でリンパマッサージと診断され、徒手リンパドレナージ適応者のみリンパ浮腫外来の予約を入れます。

日 時：毎週水曜日 13時30分～17時

場 所：外来棟2階 形成外科外来

担当者：看護師2名（日本医療リンパドレナージ協会中級修了1名・リンパ浮腫研修修了者1名）

【処置費用】

①相談・指導料 1回 1,790円（税込）

②リンパドレナージ、バンテージなど看護師施術料 各施術20分につき1,840円（税込）

③施術にかかるおおよその時間と費用

片側上肢：マッサージ60分 5,520円（税込）

片側下肢：マッサージ60分～80分 5,520～7,360円（税込）

ストーマ外来開設



皮膚・排泄ケア認定看護師 川村 智子

今年度より、ストーマ外来開設にあたり担当をする、皮膚・排泄ケア認定看護師の川村です。

ストーマ（人工肛門、人工膀胱）を造った患者さんは、周囲の皮膚のただれや、漏れなど、いろいろな悩みや心配事を持っています。病院では、手術を行い、退院するまで、装具交換の手順を覚えることに精一杯となります。退院し、自宅での生活により、体調が回復し、体型が変わり、退院時の装具が合わなくなることもあります。このような患者さんの不安や疑問に対し、相談できる場所はこれまで限られてきました。ゆっくりと患者さんの相談に乗り、ストーマを見ることができるところを提供したいと思い、ストーマ外来を開設することになりました。

顔の形に個人差があるように、ストーマの形は人それぞれです。また、悩みも一人ひとり違います。ストーマ外来では、患者さんの不安を聞き、合併症がないか観察し、適切な装具が使用されているか、観察を行います。また、新しい装具の紹介も行います。外来受付は、完全予約制で、一人30分の時間を設けています。

オストメイト（人工肛門・人工膀胱保有者）が普通の生活（ストーマ造設前の生活）を目指し、より良い日常生活を送ることができるよう、お手伝いしたいと考えています。

尚、ストーマ外来は第1・3金曜日の午後に外科外来で開設します。どうぞ、ご利用下さい。

【ストーマ外来】

当院でストーマを造設した患者さんを対象に、退院後もストーマや装具に関する相談や指導を行います。

日 時：毎月第1・3金曜日 午後13時30分～15時

場 所：外科外来

担当者：皮膚・排泄ケア認定看護師

【診察料】

保険診療での診察となります。

- ・ 診察料
- ・ 在宅療養指導料
- ・ ストーマ処置料（装具交換を行った場合）

これらを算定させていただきます。

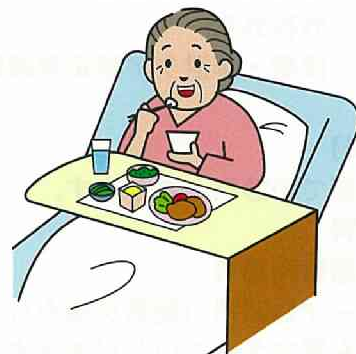
栄養サポートセンター が誕生



栄養サポートチーム 看護師 丸田 君子

当院は、2005年9月からNST活動を開始しています。本年4月には、栄養サポートセンターが誕生し、NST活動の新たな一步を歩み始めました。「栄養サポートセンターは、どこにあるの」残念ながら今のところ決められた場所はなく、答えとしては、重点的な栄養サポートを必要とする患者様のベッドサイドと言えるかもしれません。NSTの活動は、まず栄養状態や褥瘡（床ずれ）の有無などを調べ（スクリーニング）、それらをもとに重点的な栄養管理が必要かどうかを判断し（アセスメント）、それに基づき患者さんに合った栄養管理方法を実践評価（モニタリング）するという手順で行います。当院では、週2回チームでの回診（ラウンド）、カンファレンスを行っています。また月1回NST委員会と勉強会を開催しています。参加者が増え栄養管理の必要性や知識が広まるよう、また、地域の皆様にも参加していただけるよう勉強会の内容の工夫と充実をはかっていきたいと考えています。私は、4月からNST専従となりました。何をどうしていけばいいのか不安な毎日ですが、まずは、患者様のもとに足を運び顔を覚えてもらう事から始めています。連休後、患者様を訪問した際には、「久しぶりだね。」と声をかけてもらい、頑張ってやっついこうという元気がわいてきました。

栄養管理の最終目標は、口から食べる事です。一人でも多くの患者様が口から食べる楽しみ・喜びを持てるよう、チームメンバーと協力し、また、地域の皆様と連携しながら活動していきたいと思っています。新メンバーで歩き始めた栄養サポートセンターを、どうぞよろしく願いいたします。



平成23年度 新任医師紹介

内科



医長
 紺谷 浩一郎
こんたに こういちろう
 専門：循環器疾患
 内科一般



医師
 丸山 仁
まる やま ひとし
 専門：消化器内科
 内科一般



医師
 浦田 隆正
うら たか まさ
 専門：消化器内科



医師
 徳久 英樹
とく ひさ へい き
 専門：循環器疾患
 内科一般

小児科



医師
 和田 拓也
わだ たく や
 専門：小児科一般



医師
 渡辺 祐紀
わた なべ ゆう き
 専門：小児科一般

整形外科



医師
 川崎 峰志
かわ みね ゆき
 専門：整形外科一般
 手の外科



医師
 和田 佳三
わだ けい せう
 専門：整形外科一般

外科



理事 兼 外科部長
 桐山 正人
きりやま まさひと
 専門：消化器外科・乳腺
 内分泌外科



医長
 芳炭 哲也
よしずみ てつ や
 専門：消化器外科
 内視鏡外科



医師
 寺川 裕史
てらかわ ひろ ふみ
 専門：消化器外科

放射線科



医師
 折戸 信暁
おりと のぶ あき
 専門：放射線科一般

産婦人科



医師
 佐藤 幹奈
さとう かん な
 専門：産婦人科一般



医師
 津田 桂
つだ けい
 専門：産婦人科一般

麻酔科



医師
 青山 実
あお やま みおり
 専門：麻酔一般

形成外科



医師
 土井 悠人
どい ゆう じん
 専門：形成外科一般

東日本大震災におけるDMAT活動報告 及び医療救護班活動報告について

このたびの東日本大震災において被災された方々へ心よりお見舞いを申し上げます。
去る4月20日、当院より派遣された東日本大震災におけるDMAT活動及び医療救護班活動報告会が行われました。

医療救護班は3月11日の東日本大震災から10日経った3月21日から岩手県釜石市で富山県医務課の要請で5泊6日の日程で活動を行い、テレビで伝わらない更なる悲惨な状況と避難者に対して傾聴という形での支援を行ったことについて報告を行いました。DMAT隊、医療救護班はそれぞれ富山県に帰ってきてからも釜石で出会った被災者の方々のことをふと考え心配してしまうということでした。

被災された方々が津波が来る前の生活に早く戻れることを心から願います。



講演・勉強会のご案内

1. 新川胸部疾患検討会

日時：毎月第2木曜日
午後6：30～
午後8：00

場所：本館3階 指導室

2. オープンベッドカンファレンス

日時：偶数月の第2水曜日
午後6：45～
午後7：45

場所：本館3階 指導室

3. 内科カンファレンス

日時：毎週火曜日
午後6：40～

場所：本館3階 指導室